

パイプ用 切断砥石

- ・塩ビ管、樹脂管、PE管、FRP等の各種非金属管切断に。
- ・樹脂の溶けやバリを最小限に抑えた作業が出来ます。
- ・アルミや薄物の鋼管、ステンレス管の切断に。

パイプ用

各種パイプを切断する
プロ職人の味方

安全の手引き

切断砥石を安全にご使用いただくための重要事項です。必ずお読みください。

警告

砥石は正しい使い方をしていれば安全な工具です。しかし、誤った使い方や不注意な機械の取扱いをされますと、砥石の破壊に結びつき、死傷を招く恐れがあります。安全作業のための“すべきこと”“してはいけないこと”を必ず守ってください。以下の基本ルールは、労働安全衛生規則・研削盤等構造規格に基づいています。

すべきこと

1. 砥石の取扱いは“ころがすな・落とすな・ぶつけるな”の三原則を守る事。砥石の保管は直射日光を避け、水気、湿気の無い場所で台板に平積みにする事。
2. 砥石は必ず先入れ先出して使用する事。
3. 機械へ取付ける前に、砥石のひび・われ・かけなど外観検査をする事。
4. 砥石に表示されている最高使用周速度・寸法などが、機械に適合していることを確認する事。
5. フランジは、外径と接触幅が左右等しく、適正なものを使用する事。
6. 砥石を取り付ける前に、必ず回転方向を確認する事。
7. 砥石カバーは常に砥石の1/2以上を覆う適正なものを使用する事。
8. その日の作業開始前に1分間以上、砥石を取り替えたときは3分間以上の試運転をする事。携帯用グラインダについては安全な場所で試運転をする事。
9. 加工物はしっかりと固定する事。
10. 作業中は保護メガネ・防じんマスク・耳せん・手袋などの保護具を着用する事。
11. 火花の飛散を遮蔽板などで防止する事。
12. 呼吸器疾患を防止する為に、粉塵の発散防止と十分な換気をする事。

してはいけないこと

1. 落としたり、ぶつけた砥石や、検査で異常があった砥石は使用しない事。
2. 砥石の穴径が機械に適合しない場合、無理に押し込んだり、穴径の改修をしない事。
3. 砥石に表示されている最高使用周速度をこえ使用しない事。
4. 砥石の接触面に変形・きず・よれ・さびのあるフランジは使用しない事。逃げ部の無いフランジは使用しない事。
5. 砥石をフランジに取り付ける際、ナットを締めすぎない事。
6. 砥石側面を使用しないこと。ジグザグ・曲線・斜め切り・コジリをしない事。
7. 砥石カバーを取り付ける際に、砥石を回転させない事。
8. 砥石を無理に加工物に押し付けない事。
9. 回転中の砥石に手・足・指などを触れない事。
10. 試運転時には、砥石の回転方向の前には立たない事。
11. 携帯用グラインダ作業では、砥石の回転が完全に止まらないうちに、グラインダを台・床・加工物などの上に置かない事。
12. 引火・爆発の恐れのある場所では切断作業をしない事。
13. 火花の飛び範囲内には立ち入らない事。
14. 安全教育を受けていない方は、砥石の取替・試運転をしない事。

◆ 参考 ◆

- ① 回転数を求める式 …… $\text{回転数 (rpm)} = \frac{\text{砥石の周速度 (m/s)} \times 60}{\text{砥石の外径 (mm)} \times 3.14} \times 1000$
- ② フランジ外径 …… 補強無し砥石は、砥石外径の1/3以上
補強あり砥石は砥石外径の1/4以上。

品番 TRP-105



「安全の手引き」を必ずお読みの上、ご使用ください。
誤った使い方をした場合、砥石が破壊して事故をまねく恐れがあります。